

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公表番号】特表2016-505033(P2016-505033A)

【公表日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-553112(P2015-553112)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|-------|-----------|
| A 6 1 K | 8/41 | (2006.01) |
| A 6 1 Q | 1/00 | (2006.01) |
| A 6 1 Q | 17/04 | (2006.01) |
| A 6 1 Q | 19/08 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 8/36 | (2006.01) |

【F I】

| | |
|---------|-------|
| A 6 1 K | 8/41 |
| A 6 1 Q | 1/00 |
| A 6 1 Q | 17/04 |
| A 6 1 Q | 19/08 |
| A 6 1 K | 8/36 |

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年3月9日(2018.3.9)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

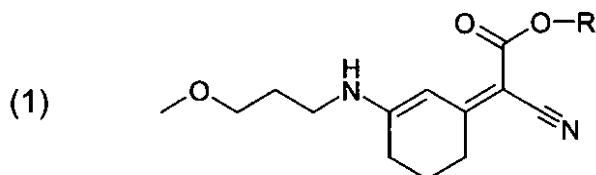
【請求項1】

生理的に許容される媒体中に、

a)少なくとも1つの油性相と、

b)次式(1)及び更にそのE/E-又はE/Z-幾何異性体形態で表される、少なくとも1種のメロシアニン化合物と、

【化1】



(式中、

Rは、C₁～C₂₂アルキル基、C₂～C₂₂アルケニル基、C₂～C₂₂アルキニル基、C₃～C₂₂シクロアルキル基又はC₃～C₂₂シクロアルケニル基であり、前記各基は、1つ又は複数の0で場合により中断される)

c)(i)アミノ置換2-ヒドロキシベンゾフェノン化合物、及び/又は
 (ii)前記アミノ置換2-ヒドロキシベンゾフェノン化合物とは異なる親水性有機UVA遮蔽剤、並びに
 (iii)これらの混合物

から選択される少なくとも1種のUVA遮蔽剤とを含み、前記親水性有機UVA遮蔽剤が存在する場合は、組成物の総質量に対して0.5質量%を超える量で存在する、皮膚に適用するための化粧用又は皮膚用組成物。

【請求項2】

式(1)のメロシアニン化合物は、Rが1つ又は複数の0で中断されてもよいC₁~C₂₂アルキルであるものから選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

式(1)のメロシアニン化合物が、次の化合物、及び更にはこれらのE/E-又はE/Z-幾何異性体形態から選択される、請求項1又は2に記載の組成物。

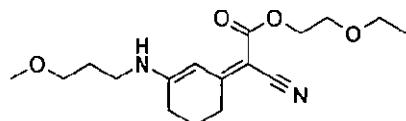
【表1】

| | | | |
|---|--|---|--|
| 1 | | 4 | |
| 2 | | 5 | |
| 3 | | 6 | |

【請求項4】

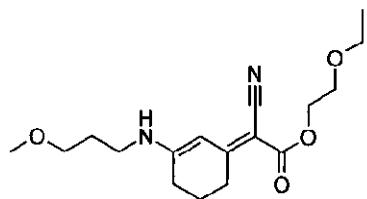
メロシアニン化合物が、次の構造を有するE/Z幾何学的配置：

【化2】



及び/又は次の構造を有するE/E幾何学的配置：

【化3】



の2-エトキシエチル(2Z)-シアノ{3-[(3-メトキシプロピル)アミノ]シクロヘキサ-2-エン-1-イリデン}エタノエート(2)である、請求項3に記載の組成物。

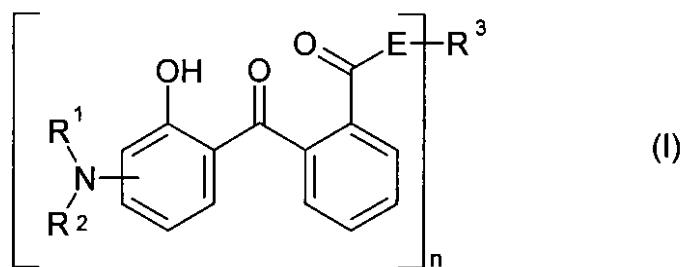
【請求項5】

式(1)のメロシアニン化合物が、前記組成物の総質量に対して、0.1質量%～10質量%の範囲の濃度で存在する、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

アミノ置換2-ヒドロキシベンゾフェノン化合物が、次式(I)

【化4】



[式中、

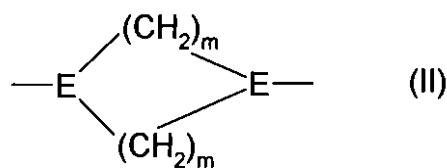
R^1 及び R^2 は、同一でも異なっていてもよく、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル基、 $C_2 \sim C_{20}$ アルケニル基、 $C_3 \sim C_{10}$ シクロアルキル基若しくは $C_3 \sim C_{10}$ シクロアルケニル基を表し、又は、それらが結合している窒素原子と共に5若しくは6員環を形成し、

n は、1～4の範囲の数であり、

$n=1$ の場合には、 R^3 は、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル基、 $C_1 \sim C_{20}$ アルケニル基、 $C_1 \sim C_5$ ヒドロキシアルキル基、 $C_6 \sim C_{12}$ シクロヘキシル基、フェニル(O、N若しくはSで置換され得る)、アミノカルボニル基又は $C_1 \sim C_5$ アルキルカルボニル基を表し、

$n=2$ の場合には、 R^3 は、アルキル二価基、シクロアルキル二価基、アルケニル二価基若しくはアリール二価基を表し、又はEと共に式(II)：

【化5】



(式中、 m は1～3の範囲の数である)

の二価基を形成し、

$n=3$ の場合には、 R^3 は、アルキル三価基であり、

$n=4$ の場合には、 R^3 は、アルキル四価基であり、

Eは、-O-又は-N(R^4)-又はNであり、

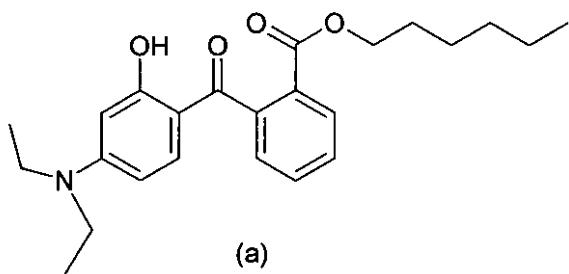
R^4 は、水素又は $C_1 \sim C_5$ アルキル若しくは $C_1 \sim C_5$ ヒドロキシアルキル基である]で表される、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

式(I)の化合物が、式(a)のn-ヘキシル2-(4-ジエチルアミノ-2-ヒドロキシベンゾイル)

ベンゾエートである、請求項6に記載の組成物。

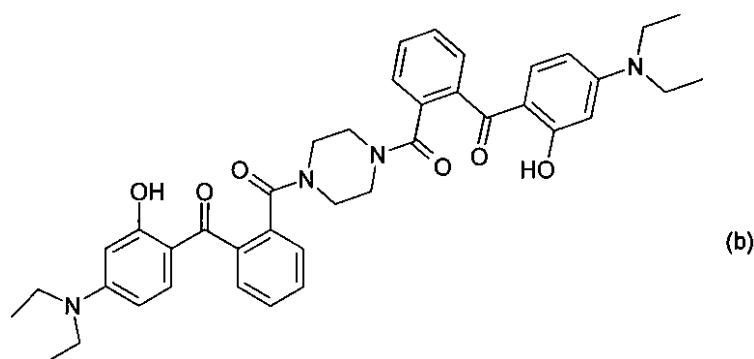
【化6】



【請求項8】

式(I)の化合物が、式(b)の(2-{4-[2-(4-ジエチルアミノ-2-ヒドロキシベンゾイル)ベンゾイル]ピペラジン-1-カルボニル}フェニル)(4-ジエチルアミノ-2-ヒドロキシフェニル)メタノンである、請求項6に記載の組成物。

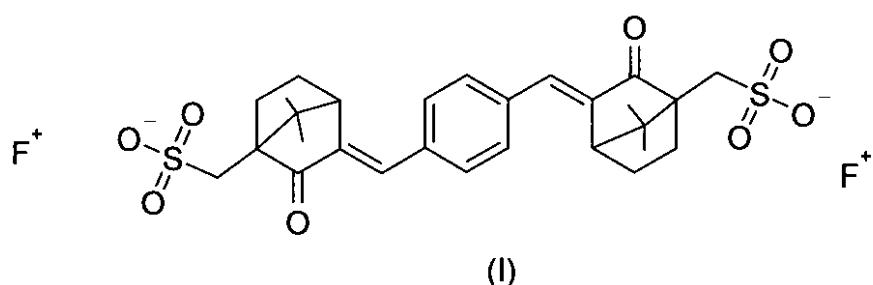
【化7】



【請求項9】

親水性有機UVA遮蔽剤が、次の一般式(I)

【化8】

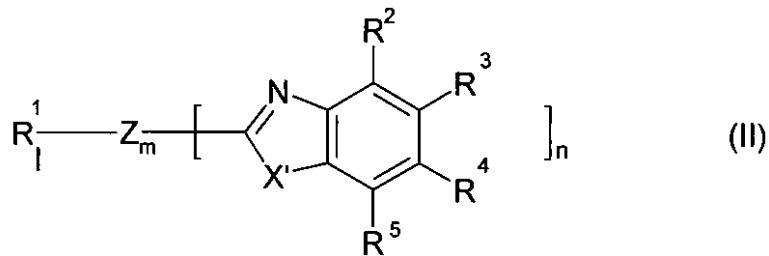


[式中、Fは、水素原子、アルカリ金属、又はNH(R₁)₃⁺基(式中、R₁基は、同一でも異なっていてもよく、水素原子、C₁～C₄アルキル若しくはヒドロキシアルキル基を表す)、又はMⁿ⁺/n基(Mⁿ⁺は、多価金属陽イオンを表し、nは、2又は3又は4に等しい)を表す]
で表される、ベンゼン-1,4-ビス(3-メチリデン-10-カンフルスルホン酸)又はそれらの塩の1つ、更にそれらの幾何異性体である、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

親水性有機UVA遮蔽剤が、以下の一般式(II):

【化9】



[式中、

- Zは、完全に共役された会合を形成するために、括弧内に定義された少なくとも2つのベンザゾリル基の二重結合系を完成させるように配置された、1つ若しくは複数の二重結合を含む原子価(l+n)の有機残基を表し、
- X'はS、O又はNR⁶を表し、
- R¹は、水素、C₁～C₁₈アルキル、C₁～C₄アルコキシ、C₅～C₁₅アリール、C₂～C₁₈アシルオキシ、SO₃Y又はCOOYを表し、
- R²、R³、R⁴及びR⁵基は、同一であっても異なっていてもよく、ニトロ基又はR¹基を表し、
- R⁶は、水素、C₁～C₄アルキル又はC₁～C₄ヒドロキシアルキルを表し、
- Yは、水素、Li、Na、K、NH₄、1/2Ca、1/2Mg、1/3Al、又は遊離酸基と窒素有機塩基との中和から生じる陽イオンを表し、
- mは、0又は1であり、
- nは、2～6の数であり、
- lは、1～4の数であり、
- ただし、l+nは、6の値を超えない】

で表される少なくとも2つのベンザゾリル基を含む化合物である、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

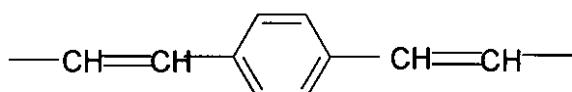
【請求項11】

式(II)の化合物は、Z基が

(a)以下から選択される、C₅～C₁₂アリール基又はC₄～C₁₀ヘテロアリール基で中断され得るオレフィン直鎖状脂肪族C₂～C₆炭化水素系基

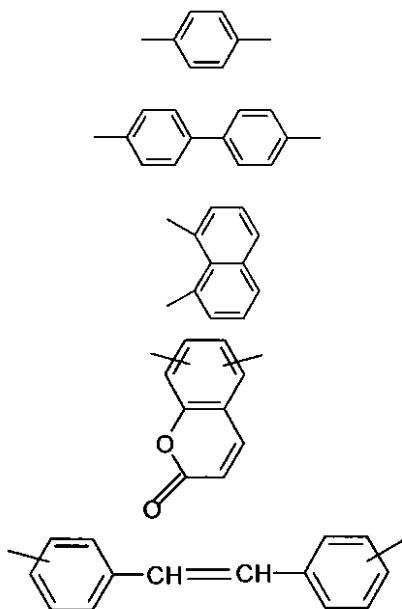
-CH=CH-、-CH=CH-CH=CH-又は

【化10】



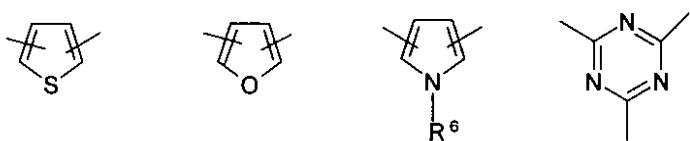
(b)次の基から選択される、オレフィン直鎖状脂肪族C₂～C₆炭化水素系基で中断され得るC₅～C₁₅アリール基

【化 1 1】



(c) 次の基から選択される $C_3 \sim C_{10}$ ヘテロアリール残基:

【化 1 2 】



(式中、 R^6 は、上で示した意味と同じである)

からなる群から選択されるものであるものから選択され；(a)、(b)及び(c)の項で定義した前記Z基は、1つ若しくは複数のC₁～C₅アルキル基で任意に置換される、C₁～C₆アルキル、C₁～C₆アルコキシ、フェノキシ、ヒドロキシル、メチレンジオキシ又はアミノ基で場合により置換することができる、請求項10に記載の組成物。

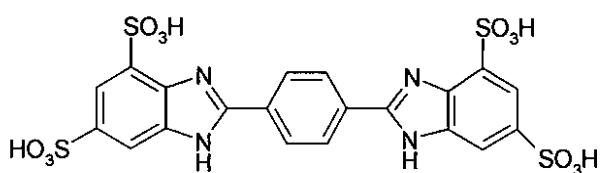
【請求項 1 2】

式(11)の化合物が、1分子当たり、1、3又は4つの SO_3Y 基を含む、請求項10又は11に記載の組成物。

【請求項 13】

式(11)の化合物が、以下の構造を有する1,4-ビス(ベンゾイミダゾリル)フェニレン-3,3',5,5'-テトラスルホン酸、又はそれらの塩の1つである、請求項10から12のいずれか一項に記載の組成物。

【化 1 3】



【請求項 1 4】

親水性有機UVA遮蔽剤が、少なくとも1つのスルホン酸官能基を含むベンゾフェノン化合物から選択される、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

親水性有機UVA遮蔽剤が、組成物の総質量に対して0.6質量%から15質量%の活性物質濃度

で存在する、請求項1から5、9から14のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項16】

請求項1から15のいずれか一項に記載の組成物の少なくとも1種の、ケラチン物質の表面への施用を含む、前記ケラチン物質をケア及び/又はメークアップする非治療的化粧方法。

【請求項17】

請求項1から15のいずれか一項に記載の組成物の少なくとも1種の、皮膚の表面への施用を含む、前記皮膚の黒ずみを制限し且つ/又は顔肌の色及び/若しくは均一性を改善する非治療的化粧方法。

【請求項18】

請求項1から15のいずれか一項に記載の組成物の少なくとも1種の、ケラチン物質の表面への施用を含む、前記ケラチン物質の老化の徴候を防止及び/又は処置する非治療的化粧方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0063

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0063】

式中、

R^1 及び R^2 は、同一でも異なっていてもよく、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル基、 $C_2 \sim C_{20}$ アルケニル基、 $C_3 \sim C_{10}$ シクロアルキル基若しくは $C_3 \sim C_{10}$ シクロアルケニル基を表し、又は、それらが結合している窒素原子と共に5若しくは6員環を形成し、

n は、1～4の範囲の数であり、

$n=1$ の場合には、 R^3 は、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル基、 $C_1 \sim C_{20}$ アルケニル基、 $C_1 \sim C_5$ ヒドロキシアルキル基、 $C_6 \sim C_{12}$ シクロヘキシル基、フェニル(O、N若しくはSで置換され得る)、アミノカルボニル基又は $C_1 \sim C_5$ アルキルカルボニル基を表し、

$n=2$ の場合には、 R^3 は、アルキル二価基(diradical)、シクロアルキル二価基、アルケニル二価基若しくはアリール二価基を表し、又はEと共に式(II)：